

## 【NEWS RELEASE】

2018年6月29日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社プラザオーサカの「SMBC働き方改革私募債」買受けについて

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社プラザオーサカ（代表取締役社長：菅原 真一）の発行する「SMBC働き方改革私募債」を買受け致しました。

「SMBC働き方改革私募債」は、私募債買受け時にお客さまの働き方改革推進の取組状況を独自の基準で“見える化”（ ）し、その結果をご提供するとともに、今後の更なる取組推進に向けた情報提供を行う商品です。

今回対象となりました、株式会社プラザオーサカに対する診断結果は、今後、働き方改革が期待できる「働き方改革のグロース企業」となりました。

特に、株式会社プラザオーサカでは、以下のような取組と実績を有しておられます。

- 5日間の連続休暇奨励など、有給休暇取得を推進し、取得率が2年連続で上昇
- 従業員のメンタルヘルス向上のため、心療内科と提携した相談体制を整備し、休職者ゼロを3年連続で維持
- 高齢者の再雇用においては年齢上限を設けずに、ひとり一人の状態に基づき処遇を決定しているほか、地下駐車場の塗装やヒヤリハット講習等、けがを予防し高齢者が働きやすくなる環境づくりの取組を実施

さらに同社では、今後のさらなる働き方改革に向け、経営トップが、「多様な人財の受入れと性別・年齢に捉われない人財活用を実現する」と宣言し、具体的な取組の進化に向けた目標として、以下3点をコミットしておられます。

- ・有給休暇取得の推進（連続5日間連続休暇の奨励）
- ・育児休暇取得率100%の継続
- ・メンタル面が原因による休職者ゼロの継続

三井住友銀行では、「SMBC働き方改革私募債」により、お客さまの働き方改革に向けた取組を、金融を通じて応援してまいります。



活躍する当社女性社員



社員旅行等を通じた  
働きやすい環境づくり

( ) “見える化”については、基準の客観性および信頼性を確保するため、本分野で豊富な知見を有する株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：瀧崎 正弘）に業務を委託しております。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。